

議会だより

No.160

2021年 4月25日

発行 稲美町議会

いなみ



稲美町イメージキャラクター「いなっち」



2年ぶりの桜ウオーキング
(母の里まちづくりの会)

2月臨時会

3月定例会

新型コロナウイルスワクチン接種の準備始まる 2P

子育て・教育に重点予算 4P

3年度 主な予算をピックアップ 6P

まちづくりをどうする 13人が一般質問 14P

臨時会

2月2日に開催した第177回臨時会は、新型コロナウイルスの感染拡大を抑え、住民や事業者の生活を守るためのワクチン接種などの緊急に予算措置が必要な2年度補正予算1議案を可決しました。

また、意見書1件を閉会中の継続審査とすることにしました。

新型コロナウイルス ワクチン接種の準備始まる

一般会計補正予算 (第9号)

○新型コロナウイルス ワクチン接種費用 を予算措置

この臨時会を開催した2月2日現在、日本は3社の製薬会社（ファイザー社、アストラゼネカ社、武田／モデルナ社）から新型コロナウイルスワクチンの供給を受けることに合意し、厚生労働省の承認を待っている状況です。

承認を受けたワクチンが町に届き準備が整

えば、国からの補助金を活用し、国の方針をもとに65歳以上の高齢者から順次、接種を開始する予定です。

ワクチン接種に係る医師委託料、コールセンターの相談支援業務及び集団接種会場運営業務などの委託料など、ワクチン接種体制の整備に必要な費用を予算措置しました。

主な質疑

問 ワクチンの種類は、町で選択できるのか。

答 町で選択できず、国が3社のワクチンを

自治体に均等に割り当てる。

問 接種体制はどうなるのか。

答 国から届くワクチンの種類や時期が現段階では未定のため明言できないが、ファイザー社製ワクチンの場合、温度管理面などを考慮し、集団接種と規模が大きい病院での接種を考えている。

接種体制の検討は、医師会の協力を得て連携しながら進める。

問 接種時期やコールセンターの開設時期などは、いつ頃、どのよう

に示されるのか。

答 接種時期は未定だが、最初のワクチンが承認され供給されれば、まず、65歳以上の高齢者に接種券と案内文、予診票などの郵送を予定している。

コールセンターは接種券の発送に合わせて設置し、住民からの接種に関する相談業務のほか、集団接種の予約受け付けなどを行う。町広報やホームページでも、随時情報を発信する。



郵送される接種券

○県の時短要請に協力する飲食店に協力を金を支給

新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、新型コロナウイルス感染症等対策特別措置法に基づく県の要請に応じて時短営業をしている飲食店に対し、一日当たり6万円の協力を金を支給します。

主な質疑

問 対象店舗のうち時短営業をした店舗数は、
答 対象は78店舗だが、申請受け付け前のため、現時点では把握していない。

○役場敷地内で見つかった処理困難廃棄物を処理

役場敷地内の倉庫で見つかったPCB（ポリ塩化ビフェニル）を使用したコンデンサの廃棄処理に係る委託料を、緊急に予算措置し

ました。

主な質疑

問 見つかったPCBの台数と濃度は、
答 昭和44年製造の1台で、高濃度と思われる。処理期限が3年3月までの契約のため、早急に処理したい。

Ⅱ 全会一致 可決 Ⅱ

(注) PCB（ポリ塩化ビフェニル）

優れた絶縁性能から、昭和40年代まで、主に電気機器の絶縁油として使用されていた。

その後、昭和43年のカネミ油症事件をきっかけに、人の健康及び生活環境に係る被害を生ずるおそれがある物質として、国内での生産・輸入が禁止されるとともに、PCB廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法(PCB特措法)が制定され、これに基づいてPCB廃棄物の確実かつ適正な処理を推進することとされた。

意見書のゆくえ

継続審査となりました

○新型コロナウイルス感染症への対策をより充実させ国民の命と暮らしを守る政策を求める意見書(案)

新型コロナウイルス感染症に対応するため、国に対し、全ての医療機関への減収補填、早急な財政措置、医療機関や高齢者施設への社会的PCR検査の頻回実施、直接支援の継続・充実、生活困窮者への支援強化などを求める意見書案が、大路恒議員から提出されました。

議会運営委員会に付託のうえ、閉会中の継続審査となりました。

令和2年度一般会計補正予算（第9号）

補正増額 1億9,477万円 総額 163億7,003万円

新型コロナウイルスワクチン接種費用などを増額

歳入の主な内容

○新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金 1億4,320万円新設
新型コロナウイルスワクチン接種費用に対する国庫負担金です。

○新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金 4,197万円新設
新型コロナウイルスワクチン接種体制確保のための経費に対する国庫補助金です。

歳出の主な内容

○新型コロナウイルスワクチン接種事業 1億8,609万円新設
新型コロナウイルスワクチンを接種するための予防接種等医師委託料や予防接種体制を確保するために必要な事務費などです。

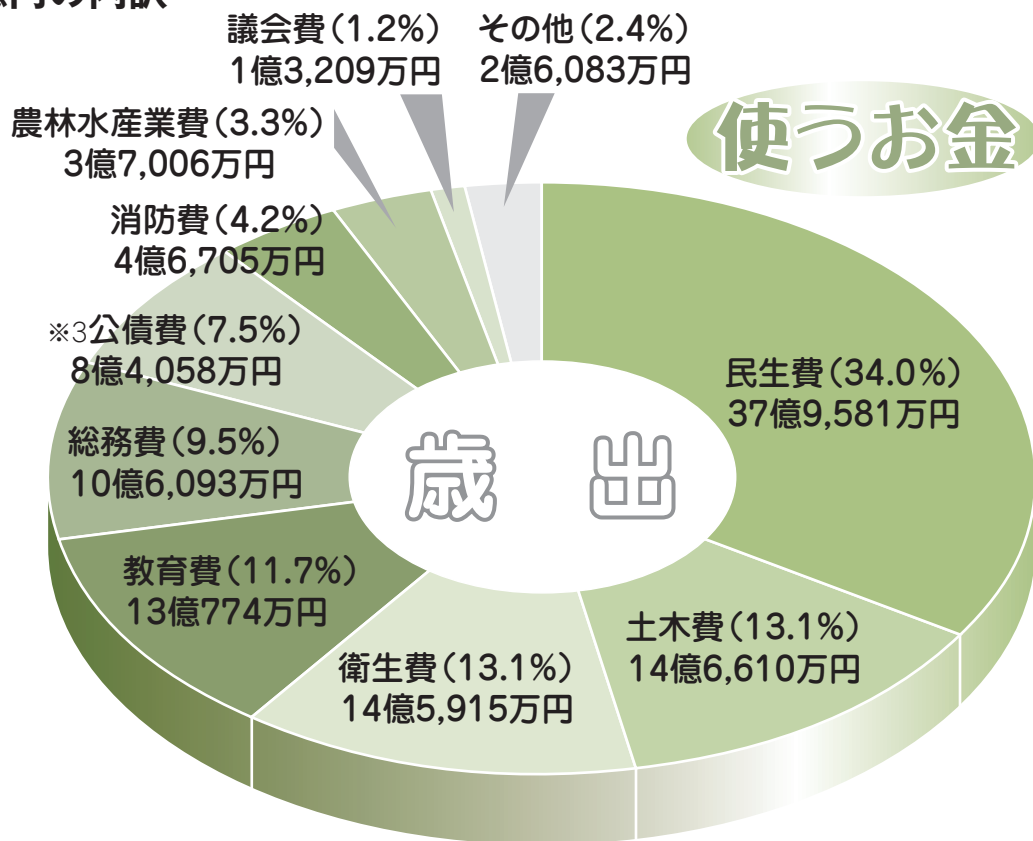
○新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金事業 780万円新設
国・県の時短要請に協力している事業者に対して、県が主体となり補助を行う事業に係る、県への委託料です。

= 全会一致 可決 =

教育に重点

億円を可決

億円の内訳



定例会

3月定例会

3月定例会は2月19日に招集され、3月19日までの29日間の日程で開かれました。
13人の議員が一般質問を行い、3年度予算をはじめ、条例の制定及び改正、2年度補正予算、人事案件など26議案を可決・同意しました。また、意見書1件を可決しました。(10ページ)
なお、今期定例会の傍聴者は延べ17人でした。

用語説明

- ※1町債
町が借り入れるお金。道路や建物など、長期間使用する施設の建設費を、今後利用する住民にも負担してもらうもの
- ※2繰入金
歳入（入ってくるお金）が不足する場合に、基金（町の貯金）を取り崩して必要な事業に使うお金
- ※3公債費
借入金（町債）の返済をするお金

3年度予算は特別委員会を設置し、5日間をかけて審査しました。一般会計111億6千万円、特別会計、水道事業会計及び下水道事業会計を合わせて96億5千万円で、総額208億円を超える予算となりました。
稲美中央公園改修事業、ごみ収集運搬事業などを予算計上しています。
(6～9ページ)

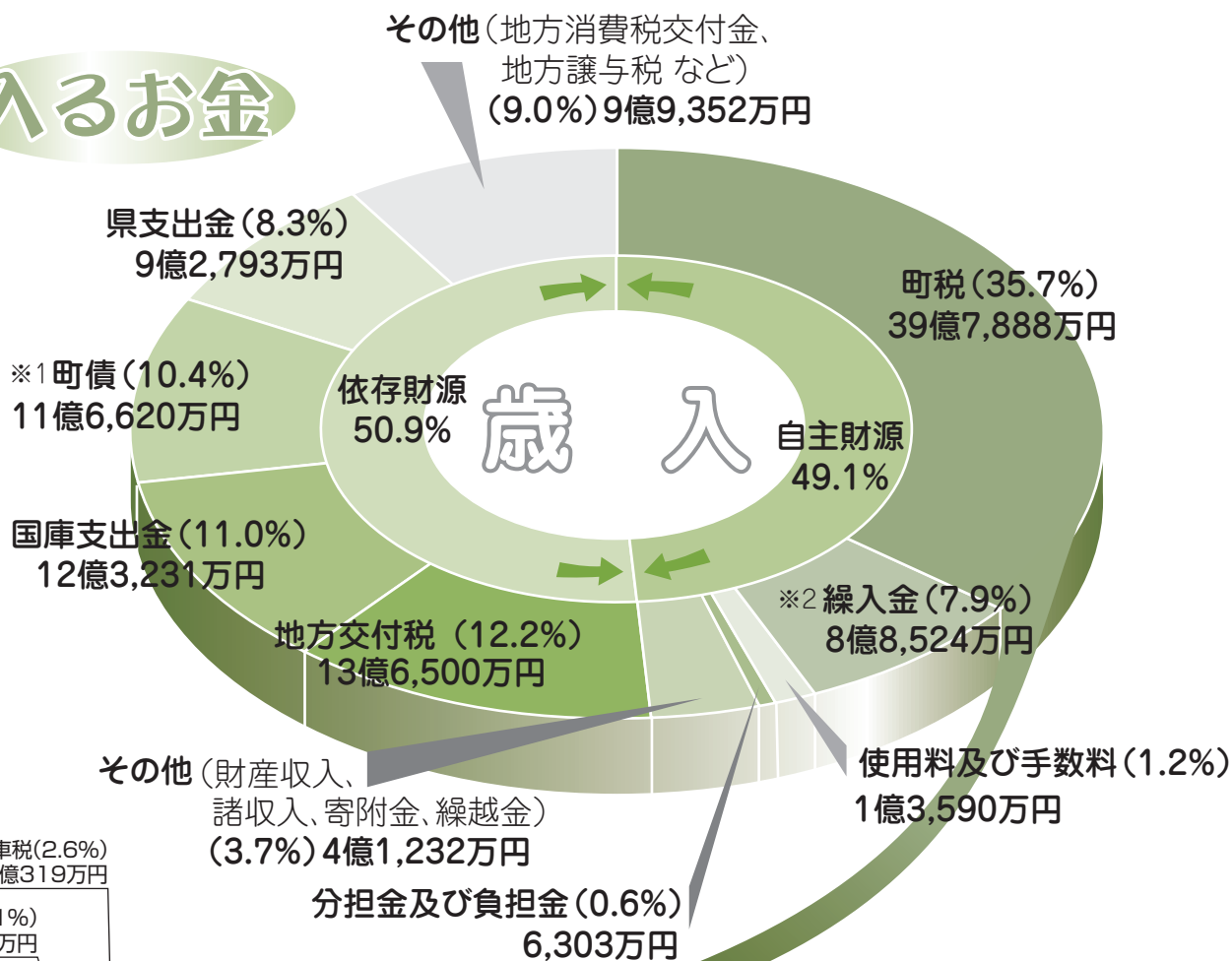


子育て。

総額 208

一般会計 111

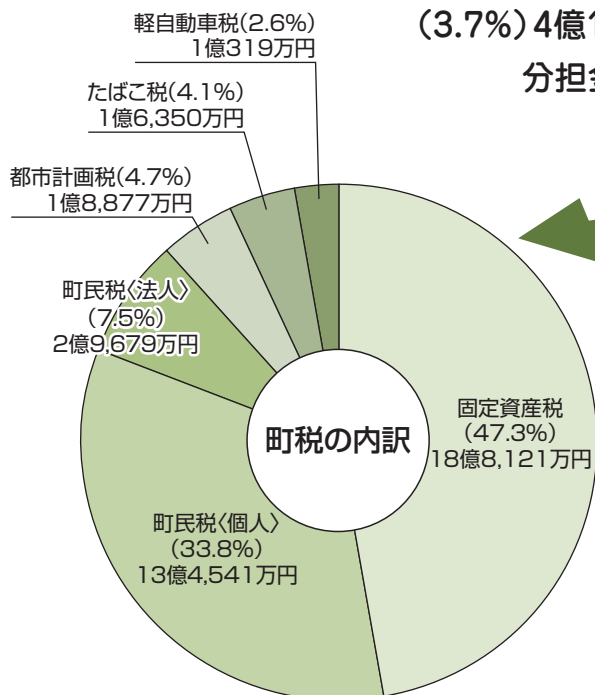
入るお金



会計別予算額

区 分	3年度予算額	対前年度伸び率
一 般 会 計	111億6,032万円	△ 4.6%
特 別 会 計		
国民健康保険	36億 740万円	△ 3.5%
後期高齢者医療	4億7,148万円	△ 1.2%
介護保険	24億1,477万円	0.5%
介護サービス	2,987万円	13.4%
小 計	65億2,352万円	△ 1.8%
水 道 事 業 会 計	8億 759万円	△ 17.2%
下 水 道 事 業 会 計	23億2,602万円	△ 2.3%
合 計	208億1,745万円	△ 4.0%

*伸び率は、2年度当初予算に対する比率です。
表示単位未満を四捨五入しており、積み上げと合計が一致しない場合があります。



出産お祝い金支給事業

878万円

乳児の出産があった世帯に出産お祝い金を支給することにより、その出生を祝福するとともに子どもを生み育てやすい環境づくりを推進します。子育て世帯への経済的支援を拡充することで、児童福祉の向上及び少子化対策を図ります。（質疑は9ページ）



子どもを生み育てやすい環境を

保育所緊急整備事業

8401万円

4年4月から母里保育園が幼保連携型認定こども園への移行を予定しているため、保育園の改築などに要する費用の一部を補助し、子どもを安心して育てることができる環境の整備を促進します。（質疑は9ページ）



こども園へ移行する母里保育園

稲美中央公園改修事業



アンケートで人気があった遊具の完成イメージ図

老朽化した公園施設の計画的な維持管理・更新を推進するため、都市公園施設長寿命化計画を策定しました。この計画を基に、国庫補助である公園施設長寿命化対策支援事業を活用し、稲美中央公園をはじめとする町内公園の遊具の更新や施設改修を計画的に行います。（質疑は9ページ）

1億6443万円

ごみ収集運搬事業



安定的なごみの収集運搬体制へ

3年11月から東播臨海広域クリンセンタ―が試運転を開始することに伴って、処理施設が高砂市となることから、ごみの収集運搬業務の強化を図り、安定的な収集運搬体制を構築します。（質疑は9ページ）

1億2662万円



農業体験を楽しむ参加者

稲美町の魅力を発信するため、町内の農業体験や工場見学、観光などができる日帰りのバスツアーを商工会と連携して実施します。（質疑は9ページ）

75万円

稲美町PRバスツアー事業

町税の納付について、金融機関窓口・コンビニエンスストアでの納付、口座振替による納付に加え、新たにスマートフォンなどのアプリケーションを利用した納付方法を導入します。（質疑は8ページ）



便利になるスマホ決済

3万円

スマホアプリを利用した納税機会拡充事業



プログラミング教育支援事業

62万円

新学習指導要領においてプログラミング教育が取り入れられました。意図した処理を、コンピューターの画面上だけではなく、人型ロボット「Pepper」に入力し、動作化させる「プログラミング的思考力」を養い教育の充実を図ります。（質疑は9ページ）



中学生とトライやる・ウィークの活動内容を小学生に伝えるpepper

小学校エレベーター設置（実施設計）事業

839万円

バリアフリー法の改正を踏まえ、要配慮児童生徒の移動や学習活動などを円滑に行うため、母里小学校と天満東小学校にエレベーターを設置し、バリアフリー化を推進します。（質疑は9ページ）



稲美北中学校に設置済みのエレベーター

出産祝い金増額



一般会計 総額111億6千万円の予算を審査

主な質疑

〔総務費〕

スマホアプリを利用した納税機会拡充事業

問 利用方法は、

また、納税するとポイントが付くのか。

答 納付書に印刷されたバーコードをアプリで読み取って利用する。

決済方法は、銀行口座から口座振替されるものやアプリに事前にチャージした残高を利用するものがある。

利用するアプリによっては、クレジットカードでの残高チャージ

や納付額に応じてポイントが付与されるものもある。

デマンド型乗合タクシー
―社会実験事業―

問 ユニバーサルデザインタクシー導入補助の内容は。

答 国の補助制度を活用して購入するユニバーサルデザインタクシーについて、町のデマンド型乗合タクシーで使用する車両2台分に對し、1台当たり30万円の補助金を上乗せする。

〔民生費〕

緊急通報システム管理
運営事業

問 3年度から追加で導入されるサービスは。

答 電話回線がない家庭の場合、希望者に携帯型の機器を無料で貸し出す。

また、見守りセンサーのサービスを追加する。固定型の緊急通報システムに有線でセンサーをつなぎ、利用者がよく通る場所に設置する。センサーが18時間利用者の動きを察知しない場合、コールセンターに通報される。

子育て交流施設運営事業

問 職員体制は。

答 正規職員2人と保育士等の資格を持つ会計年度任用職員7人が、交代で勤務する。

問 コスモス児童館と子育て支援センターのおもちゃは、新施設でも使用するのか。

答 傷んでいる物は処分するが、必要な物は新施設でも使用する。残りは、希望する幼稚園などへ譲渡するか加古郡リサイクルプラザ



0歳児対象の「ねんねの会」の参加者

へ持ち込む予定。

出産祝い金支給事業

問 現行の2万4千円分のお米券支給事業から変更する経緯は。

答 育児用品などの購入もできるような稲美町共通商品券を支給する。少子化対策として、支給相当額を現行の約2倍の5万円に増額する。

保育所緊急整備事業

問 認定こども園の延長は。

答 公立幼稚園と同様の教育時間を設定できるとともに、教育時間終了後は預かり保育を実施できる。

保育士確保補助事業

問 3年度から新設の新卒保育士等就労支援一時金の内容は。

答 待機児童問題解消に向けて保育士等を確保するため、新規に採用する保育士等（新卒または潜在保育士）に特別給付を支給する事業者に対し経費の一部を補助する。補助額は、

採用後3カ月、1年、2年経過で各10万円。

〔衛生費〕

新型コロナウイルスワクチン接種事業

問 3月11日現在の接種体制に関する状況は。

答 当町に最初のワクチン（約千回分）が届くのは、4月26日以降の予定。

稲美中央病院に冷凍庫を配置し、平日と土曜日の午前中に接種をお願いする。

土曜日の午後と日曜日の午前・午後は、当面の間、いなみ野体育センターでの集団接種を予定している。

問 接種券の郵送開始時期とコールセンターの開設時期は。

答 接種券は、4月中旬頃に65歳以上の高齢者に一斉に発送予定。コールセンターは3月下旬頃に開設し、予約の受付業務に先立ち相談業務を開始予定。

予約は、コールセンター、インターネット

ウェブ、LINEで受け付ける。

ごみ収集運搬事業

問 粗大ごみ収集業務委託料が前年度より増えている理由は。

答 11月以降、布団などの長尺可燃ごみを粗大ごみ収集日に収集し、東播臨海広域クリーンセンター（高砂市）まで運搬する必要があることから、パッカー車などを増やすための増額である。

〔農林水産業費〕

有害鳥獣対策事業

問 狩猟免許等取得支援補助金の内容は。

答 地域住民が有害鳥獣を駆除するために狩猟免許を取得する場合に、一人当たり上限5万円の補助を行う。

〔商工費〕

稲美町PRバスツアー事業

問 事業概要と参加者の要件は。

答 稲美町の魅力をPRするため、農業体験、工場見学、観光などができる日帰りバスツアーを実施する。町内だけでなく町外からも参加いただける。

〔土木費〕

稲美中央公園改修事業

問 整備する駐車場及び改修するトイレの場所は。

答 こどもの国の遊具の更新などによる利用者増加を見込み、健康づくり施設の東側の駐車場を野外活動センター付近まで拡大する。トイレは、グラウンド北側と野外活動センターの2カ所の内装工事を行う。グラウンド北側のトイレは、洋式



稲美中央公園の駐車場予定地

に変える。

〔消防費〕

災害対策活動事業

問 防災備品の保管場所が、役場や小中学校などに分散しているが。

答 現在の保管スペースに限りがあるため、避難所などに分散している。

保管場所の確保は、今後の課題である。

〔教育費〕

プログラミング教育支援事業

問 人型ロボット（Pepper）は中学校区に1台ずつ配置されるが、1台をどのように活用するのか。

答 プログラミングを含む教材は児童生徒のタブレット端末のウェブ上にあり、そこからプログラミングをロボットに送信できるので、複数の教室で同じ時間帯に授業ができる。ロボットが自分たちのプログラミングどおり動くかどうかは、計画を立てて各教室に持ち回って試すことになる。

小学校エレベーター設置（実施設計）事業

問 母里小学校と天満東小学校のエレベーターの使用開始時期は。

答 3年度は実施設計を行い、国の補助を活用して4年度に工事を行うので、使用開始はそれ以降になる予定。

小中学校のトイレを洋式に改造



トイレ手洗器の自動化

一般会計補正予算 (第10号)

○小中学校のトイレ 改造費を予算措置

新型コロナウイルス感染症対策として、加古、母里、天満小学校、稲美中学校のトイレの洋式化及び手洗器の自動化などの改造工事を行います。

母里小学校のトイレ改造等に係る設計委託料、加古、母里、天満小学校、稲美中学校の監理等の委託料及び工事請負費を予算措置しました。

予算を3年度に繰り越し、国の補助金などを活用して改造等を行います。

主な質疑

問 洋式に変更するトイレの数は確定していますか。

るのか。

答 設計前のため数は未定だが、全て洋式へ転換することを考えている。

○地域振興商品券 (第二期)を交付

新型コロナウイルス感染症の拡大で売り上げが減少した町内の小規模事業者の支援と消費を喚起するため、住民一人当たり5千円分の地域振興商品券を再度交付します。

予算を3年度に繰り越し、国の臨時交付金などを活用して実施します。

主な質疑

問 発行時期は。

答 6月以降のなるべく早い時期に実施したい。

〓全会一致 可決〓

一般会計補正予算 (第11号)

○コロナ禍において 出産する母親への応援 給付金事業の対象 期間を延長

赤ちゃんを出産された母親を対象に、町独自で赤ちゃん一人につき10万円を支給している事業において、対象となる出産日は、3年3月31日までとなりましたが、3年12月31日まで延長します。予算を3年度に繰り越し、給付金を支給します。

主な質疑

問 多胎児を出産された母親への給付額は。

答 ふたごの場合、一人10万円で計20万円となる。

○新型コロナウイルス スワクチン接種事業 費を増額

2月の臨時会で補正した住民に対する新型コロナウイルススワクチン接種に対する費用を、その後の体制整備状況に合わせて増額補正しました。

コールセンターの相談支援員の増員及び集団接種回数の増加などによる委託料などを増額しました。

予算の一部を3年度に繰り越し、国の補助金を活用して実施します。

主な質疑

問 一週間につき何人くらい接種できるのか。

答 土曜日の午後、日曜日の午前及び午後の実施予定のいなみ野体育センターでの集団接種で約840人、平日

と土曜日の午前中に実
施予定の稲美中央病院
で約800人の接種を
見込んでいます。

〓全会一致 可決〓

人事案件

〇教育長の任命に同意

北谷 きたたけ 錦也 ぎんや 氏の任命
に同意しました。

(新任)

住所 加古川市加古川
町中津767番地の7
任期は、前任者の残
任期間である3年9月
30日までの半年間です。

〓全会一致 同意〓



令和2年度一般会計補正予算(第10号、第11号)

補正増額 3億6,958万円 総額 167億3,961万円

第二期稲美町地域振興商品券事業費、新型コロナウイルス感染症対策費などを増額

<第10号>歳入の主な内容

〇新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時
交付金 2億8,197万円増額

新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策
及び感染拡大により影響を受けた地域経済や
住民生活の支援に対し、国から交付される臨
時交付金の2次配分です。

〇学校施設環境改善交付金

1億1,986万円増額

小中学校のトイレ改造工事に対する国庫補
助金及び天満幼稚園の園舎増築工事に係る国
庫補助金の増額分です。

<第10号>歳出の主な内容

〇第二期稲美町地域振興商品券事業

1億6,014万円新設

新型コロナウイルス感染症拡大で影響を受け
た地域経済の復興及び消費喚起のため、住民
一人当たり5千円分の地域振興商品券を交付
する事業(第二期分)に係る費用です。(3
年度に繰り越し)

〇小中学校トイレ改造事業 5億614万円増額

新型コロナウイルス感染症対策として、加古、
母里、天満小学校及び稲美中学校のトイレ洋
式化、手洗器の自動化などを行う改造工事に
係る費用です。(3年度に繰り越し)

= 全会一致 可決 =

<第11号>歳入の主な内容

〇新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時
交付金 1億525万円増額

新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策
及び感染拡大により影響を受けた地域経済や
住民生活の支援に対し、国から交付される臨
時交付金の3次配分です。

〇新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事
業費補助金 3,784万円増額

新型コロナウイルスワクチン接種体制確保
のための経費に対する国庫補助金の上限額
定による増額分です。

<第11号>歳出の主な内容

〇コロナ禍において出産する母親への応援給付
金事業 1,457万円増額

2年4月28日から3年3月31日までに赤ちゃんを
出産した母親を対象に町独自で赤ちゃん一人に
つき10万円を給付する事業を、3年12月31日
まで延長することにより、給付金などを増額
します。(3年度に繰り越し)

〇新型コロナウイルスワクチン接種事業

3,900万円増額

新型コロナウイルスワクチン接種に係るコ
ールセンターの増員、集団接種回数の増加及
びシステム改修などにより、委託料などを増
額します。(一部を3年度に繰り越し)

= 全会一致 可決 =

討論

制定された条例

○稲美町立子育て交流施設の設置及び管理に関する条例の制定

5月5日に開設予定の稲美町立子育て交流施設の設置及び管理についての必要事項を定めています。

〔反対〕木村 圭二

住民の負担で建設した施設である。町内の人が優先的に利用できるようにすべきだ。

〔賛成〕池田 博美

子どもから大人まで住民が待ち望んだ施設であり、その設置管理に必要な条例が制定されているので賛成する。

〔賛成〕長谷川和重

子どもの健全な遊びの場、住民福祉の向上、

児童福祉の増進を図る交流施設であるため、条例制定に賛成とする。

〔賛成〕樋口 瑞佳

住民には自宅や学校・職場以外に第三の場所（サードプレイス）が必要であるため、この条例に賛成する。

〔賛成12、反対1〕

〓賛成多数 可決〓

本会議予算審議

後期高齢者医療特別会計

〔反対〕大路 恒

低所得者層への保健医療を軽減する特例措置を廃止した。負担増に拍車をかけるものだ。よって反対する。

〔賛成〕河田公利助

若い世代と高齢者が公平に国民皆保険を引き継いでいく支え合いの制度で、本予算の妥当性を認め賛成する。

〔賛成〕大山 和明

社会全体で高齢者の医療費を支え合うためにつくられた制度で、適切な予算が組まれているので賛成する。

〔賛成〕長谷川和重

県の広域連合と市町村とが事務を行い、低所得者に係る保険料の軽減もされている。よって賛成とする。

〔賛成10、反対3〕

〓賛成多数 可決〓

意見書のゆくえ

修正可決しました

○新型コロナウイルス感染症への対策をより充実させ国民の命と暮らしを守る政策を求める意見書

2月の臨時会で議会運営委員会に付託のうえ継続審査となっていた意見書の修正案が、議会運営委員会から提出されました。

意見書を国へ提出

新型コロナウイルス感染症への対策をより充実させ国民の命と暮らしを守る政策を求める

〔要約〕

- 1 すべての医療機関への減収補填を行うこと
- 2 全額国庫負担での早急な財政措置と、とりわけ医療機関や高齢者施設への社会的PCR検査を頻回行えるよう抜本的充実を行うこと
- 3 持続化給付金の第2弾、雇用調整助成金、家賃支援金など直接支援の継続・充実を行うこと
- 4 生活困窮者に対する支援の強化を行うこと
- 5 ワクチン接種体制の支援を行うこと

◎提出先

内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣、内閣府特命担当大臣（ワクチン接種、経済財政政策）など

〔原案及び委員会の修正案に対する反対〕

木村 圭二

アンケートで、コロナの影響を受けていると答えた事業所が40%にのぼるが、意見書に反映されていない。

〔委員会の修正案に対する賛成〕

池田 博美

ワクチン接種体制の

支援を行うことは感染収束に不可欠な要望であるため、追加する意見書案に賛成する。

〔委員会の修正案に対する賛成〕

山田 立美

継続的な医療体制と暮らしの安定に加え、ワクチン接種を実行する自治体支援を求めるものなので賛成する。

〔委員会の修正案〕
〔賛成12、反対1〕
〓賛成多数 可決〓

〔修正議決した部分を除く原案〕

〔賛成12、反対1〕
〓賛成多数 可決〓

〔討論とは〕

議会において、表決の前に議題となっている案件に対し、賛成か反対かの議員個人の意見を表明すること

議案などの審議結果【2月臨時会・3月定例会】

賛否の分かれた議案

議案名		賛成	反対	議決結果	議決日	樋口瑞佳	小山裕美	木村圭二	長谷川和重	河田公利助	辻元誠志	大山和明	山田立美	山口守剛	吉田剛	大瀧恒	関灘真澄	池田博美	池田いつ子
条例	町立子育て交流施設の設置及び管理に関する条例の制定	12	1	可決	3/19	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
3年度予算	後期高齢者医療特別会計予算	10	3	可決	3/19	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	-	○	×
意見書	新型コロナウイルス感染症への対策をより充実させ国民の命と暮らしを守る政策を求める意見書	修正案	12	1	2/19	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
		修正部分を除く原案	12	1	修正可決	2/19	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○

○印は賛成を、×印は反対を示しています。

※議長は採決に加わりませんので「-」で表示しています。ただし、賛成と反対が同数の場合には、議長が決します。

全員が賛成した議案

議案名		議決日
条例	▶国民健康保険条例の一部改正 ▶国民健康保険税条例の一部改正	3/8
	▶特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正 ▶固定資産評価審査委員会条例の一部改正 ▶高齢期移行福祉医療費助成条例の一部改正 ▶こども医療費助成条例の一部改正 ▶重度障害者・母子家庭等福祉医療費助成条例の一部改正 ▶介護保険条例の一部改正 ▶町立幼稚園における預かり保育の実施に関する条例の一部改正 ▶兵庫県市町村職員退職手当組合理約の一部変更 ▶指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正	3/19
	▶一般会計補正予算（第9号）	2/2
	▶一般会計補正予算（第10号） ▶国民健康保険特別会計補正予算（第4号） ▶下水道事業会計補正予算（第2号）	3/8
2年度予算	▶一般会計補正予算（第11号）	3/19
3年度予算	▶一般会計予算 ▶国民健康保険特別会計予算 ▶介護保険特別会計予算 ▶介護サービス特別会計予算 ▶水道事業会計予算 ▶下水道事業会計予算	3/19
その他	▶町道の路線の認定	3/8
	▶教育長の任命	3/19

コロナ禍に対応した議会傍聴

新型コロナウイルス感染症の予防及び拡大防止のため、傍聴者の定員を制限しています。議場・委員会室へ入場（室）される際は、出入り口に設置している消毒液をご使用ください。また、マスクを着用し、隣の人との間隔を空けてご着席ください。体調がすぐれない人は、傍聴をご遠慮ください。

町議会では、予算や条例をはじめ行政に対する一般質問など、住みよいまちづくりをめざして審議をしています。

この審議の様子を住民のみなさんに傍聴していただくための傍聴席を、6席に制限しています。

明瞭な音声を聴きとることができるようヘッドホンを設置しています。車いすに乗られたままでも傍聴席に着けるようリフトも設置しています。

要約筆記、手話通訳の必要な人は1週間前までにお問い合わせください。

1階ロビーのATM前に設置したモニターでも議会の様子を生中継でご覧いただけます。

また、一般質問の録画放送を本会議終了後に行います。

常任委員会の日程は、議会事務局にお問い合わせください。

次回の定例会の日程（予定）

と き	予定している主な内容
6月 4日(金) 9:30～	議案の提案理由の説明
6月16日(水) 9:30～	一般質問
6月17日(木) 9:30～	一般質問
6月21日(月) 9:30～	議案に対する質疑・討論・表決

【問合先】

議会事務局 ☎492-9147（直通）

議会映像をインターネットで配信しています

議会開催時の生中継と録画放送が、インターネットを利用してパソコンやスマートフォンなどで視聴できます。詳しくは、町ホームページの「稲美町議会」「議会映像インターネット配信」をご覧ください。



まちづくりをどうする

ここが聞きたい!!



※登壇順（質問順）に掲載しています。

質問者	掲載ページ	質 問 事 項
河田 公利助	15	①地域交通の更なる充実を ②災害弱者の救済と孤立化防止策と出口戦略を ③コウノトリと文化財保護
大山 和明	15	①デマンド型乗合タクシー社会実験事業について ②町の安全・安心に「見守りカメラ」の整備を ③小中一貫教育の取り組みについて
山田 立美	16	①歯と口腔の健康づくり対策を問う ②学校歯科健診の取り組みを問う ③コロナ影響下における救急医療体制について
木村 圭二	16	①介護保険サービス申請の窓口対応を問う ②待機児童解消の取り組みを問う ③新型コロナ対策を問う ④安心・安全のまちづくりを問う
吉田 剛	17	①子どもたちの心のケアを ②シトラスリボンの周知と普及を ③若者の声をかたちに
辻元 誠志	17	①ワクチン接種について ②少子化対策の強化及び定住の促進について
山口 守	18	①誰一人取り残さない町に ②障がい福祉計画の推進を ③稲美町で働く人のために ④県の新規・拡充事業への随伴は
池田 博美	18	①財政調整基金の使途は ②コスモス児童館と清掃センターの跡地活用は ③「いきいき農地バンク」の活用を
樋口 瑞佳	19	①野焼きの煙害軽減策を ②稲美町スポーツ施設の予約抽選申し込みなどをシステム化に ③住民の方が意見を出しやすくするために ④道路に自転車レーンの導入を ⑤ユニバーサルデザインを様々な場面に
池田 いつ子	19	①性別欄廃止の検討を ②稲美中央公園にインクルーシブな視点を
大路 恒	20	①コロナ禍のなか放課後児童クラブの手洗い場に自動水栓蛇口の増設を ②国保税のうち18歳未満の加入者の均等割の廃止を ③「いなみっこ広場」の開設に当たりコスモス児童館廃止後の利用方法将来像は
長谷川 和重	20	①保育士を確保するための事業について ②第6期いなみ障がい福祉計画策定について問う ③稲美町の企業誘致の現状と将来のビジョン・対策について ④ふるさと納税推進について
小山 裕美	21	①児童虐待防止に向けて ②殺処分ゼロをめざす地域猫との付き合い方 ③乳がん患者に「アピアランスケア」の支援を

のある質問事項を掲載しています。

地域交通の更なる充実を

町長

課題はあるが積極的に取り組む



河田 公利助

デマンド型乗合タクシー「あいのりいなみ」の利用制限の緩和や、土山駅に行けるなど目的地の拡大は。

企画担当部長 実施できない課題も多くあるが、少しでもサービス向上を図っていく。
加古川市で「かこバス



土山駅にも行けるかこバスミニ（JR土山駅南口）

スミニ」平岡東ルート
の運行が始まり、当町に近
い場所から土山駅に行ける
ようになった。当町もでき
ないか。

企画担当部長 困難だが
地域公共交通計画を策定
していく中で、住民の交
通移動ニーズを把握し
課題を整理する。

孤独・孤立対策を

住民が孤独にならず、
孤立しないよう対策は。

健康福祉部長 「ひよ
うご暮らしと仕事のよ
りそい支援センター」
や社会福祉協議会及び
地域福祉課などで相談
を受けている。

SNSで救済策の情
報発信ができないか。

健康福祉部長 救済策
は町ホームページや町
広報、有線放送などで
発信している。SNS
を使った情報発信は、
現在、考えていない。

2市2町で見守りカメラの整備を

町長 近隣市町の動向を注視していく



おやま 大 山 和 明



稲美北中学校の体育館外壁に設置されている防犯カメラ

見守りカメラは、犯
罪抑止や位置情報の確
認、高齢者や子どもの
見守りなどにつながる。
2市2町広域での見
守りカメラの整備を。

経済環境部長 3年度
は既存の補助制度に加
え、既設防犯カメラの
修繕費の補助を新設す
る。近隣市町の人口千
人当たりの設置台数な
ども研究する。

課題が多い試験運行中
の「あいのりいなみ」
試験運行開始から2
カ月が経ち、利用者か
らは「帰りの予約が困

る」などの厳しい声を
聞く。改善策は。

企画担当部長 社会実
験運行期間中に、アン
ケート調査を実施しな
がら課題を一つ一つ整
理して、サービスの向
上を図っていく。

小中一貫教育の導入を

教育政策部長 町では
「中一ギャップ」の解
消に向け、小中学校教
員が一体となって児童
生徒の学びや成長を支
える小中連携教育の充
実に取り組んでいる。
現状では小中一貫教育
の導入予定はない。

試験運行開始から2
カ月が経ち、利用者か
らは「帰りの予約が困



山田 達美

コロナ禍の救急医療体制を問う

町長 適切な対応が行われている

妊婦の歯科検診の受診率向上につながるため、どのような働きかけをしているのか。

健康福祉部長 妊娠の届け出があったときに、

検診の案内をし、受診しよう勧めている。

また、受診結果の報告書を出している。報告がない場合は、懇談時などで保護者に対し受診するよう勧めている。

二次救急医療体制下で発生した救急搬送困難事例の発生割合は。経済環境部長 元年は0・8%、2年は1・4%である。県立加古川医療センターと加古川中央市民病院を中心に、各医療機関が連携し、救急医療に対応している。

学校で行った歯科健診後のフォローは。教育政策部長 2年度の健診結果では、虫歯のある児童生徒は全体の35・4%となった。健診結果は、保護者へ文書で通知しており、治療や相談を要する児童生徒の保護者には、再受診を勧めている。



ただ今、歯科健診中です

一般質問

車道と歩道の段差に反射板設置を

土木課長 順次設置をすすめる



木村 圭二

車道と歩道の段差で、夜間、二輪車を運転するの危険だ。歩道に反射板を設置すべきだ。

土木課長 県は県道に設置を進めている。町も計画を持って設置したい。

土木課長 危険な箇所から順次補修している。生活支援と経済対策に積極的取り組みを

3年度も、一人当たり5千円の商品券配布を決定したことに敬意を表したい。引き続き生活支援と経済対策を。

経営政策部長 国の臨時交付金を活用して様々な事業を実施してきた。3年度も、効果的な生活支援と経済対策を実施していく。

待機児童解消を問う

保育所に入所できず、幼稚園に入園している園児は何人か。

健康福祉部長 3年度幼稚園内定者は10人だ。

待機児童解消の具体的な施策を提案したが、検討していない。

健康福祉部長 保育士確保施策を拡充する。



道路に設置されている反射板

シトラスリボンの周知と普及を

教育政策部長

様々な取り組みを推進していく



よしだ つよし
吉田 剛

シトラスリボンの周知と普及の現状は。

教育政策部長 シトラス

スリボンプロジェクト

運動に町内2小学校が

参加し、リボンやカード

の作成・配付に取り組

組んでいる。

シトラスリボンは、

身につけることで自分

自身が差別や偏見、誹謗中傷をしないという意思表示になる。広める予定は。

教育政策部長 各小中

学校では、これまでの

取り組みや授業により

「コロナ差別や偏見、

誹謗中傷をしない」と

いう意識の高まりが見

られる。今後も様々な取り組みを進めていく。若者の声をかたちに

町長 総合戦略などの

計画を策定するなかで

頂いた意見は、重要な

基礎資料として活用し、

まちづくりに反映させ

たい。

若者の声を直接聞く

話し合いの場はあるか。

企画担当部長 大学と

連携したまちづくり事

業などで、学生の声を

取り入れながら特色あ

るまちづくり事業を実

施している。



広めようシトラスリボン

高齢者のワクチン接種はどうなる

町長 供給後は速やかな接種に努める



つじもと せいし
辻元 誠志

4月以降に始まる高齢者へのワクチン接種の準備状況は。

町長 接種券の印刷、

コールセンターの設置、

加古川医師会との協議、

集団接種会場の確保な

どの準備を進めている。

ワクチンの有効性、

安全性などの情報提供

はどのように行つか。

健康福祉部長 接種券

発送時に、ワクチンな

どの説明書を同封する。

町ホームページや広報

にも情報を掲載する。

集団接種による集団

免疫の獲得が、新型コ

ロナ感染症の終息に必



終息に向けてワクチン接種を

要ではないか。

健康福祉部長 集団接

種は、感染症の発生予

防、感染拡大や重症化

を防ぐために効果的で

あると考えている。

結婚新生活支援事業の

拡大を

少子化対策や定住促

進として、新婚世帯へ

の支援の拡大を。

企画担当部長 金銭的

な問題で、結婚をため

らう人を支援する事業

である。3年度に国の

補助対象範囲などの見

直しに合わせて18万円

から30万円に拡充する。

誰一人取り残さない町に

町長

支え合いのまちづくりを進めたい

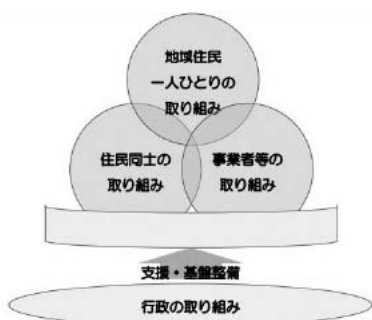


やまぐち
山口 守もる

地域生活課題の解決のために、支援が包括的に提供される体制の整備は。

健康福祉部長 関係部

署、関係機関などと情報共有するなどの連携により、あらゆる生活課題の解決に向けた支援をしていきたい。



地域住民一人ひとりの取り組み	地域に暮らす一人ひとりが、いつまでも自分らしく地域で暮らすための予防的福祉の取り組み
住民同士や事業者等の取り組み	地域組織や、ボランティア等地域で助け、助けられる関係づくりの取り組み
	社会福祉事業者、NPO、企業等の資源を地域の暮らしに活かす取り組み
行政の取り組み	地域福祉活動の支援と包括的支援体制づくりの取り組み

みんなでつくる誰もが安心して暮らせる地域共生社会

障がい福祉計画推進を

地域生活支援拠点を持つべき主な機能の推進状況は。

健康福祉部長 緊急時

に対応するため、障がい者が短期入所を体験できるよう、町内のグループホームの受け入れ

県事業の随伴は

れ態勢などの調整を図っている。また、専門的人材の確保・養成、地域の体制づくりは、近隣市町の取り組みを参考にしていく。

県の新規・拡充事業

「がん患者アピアランスサポート事業」「骨髄等移植ドナー支援事業」は、市町が実施主体となる。導入について見解を問う。

健康福祉部長 いずれ

も検討すべき事業と考えている。

財政調整基金で住民へ還元を

町長

健全運営で生活と財産を守る



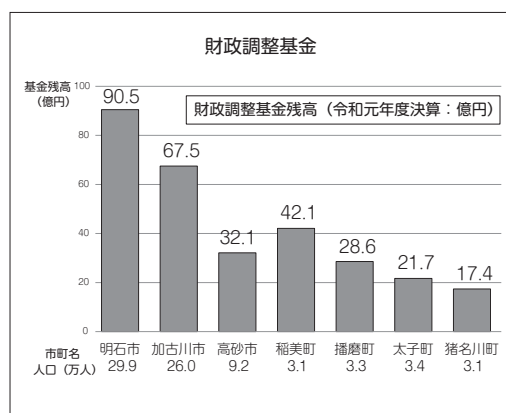
いけだ ひろみ
池田 博美

町長 学校施設の整備などに努めつつ、財政の危機的状态から脱し一定の額が確保できた。今後、社会保障費の増加、コロナ禍の影響などで財政収支バランスの悪化が見込まれるが、健全な財政運営に努め住民生活と財産を守る。

経済環境部長 農業委員会、土地改良区、集落営農組合などと連携した体制を作りたい。

いきいき農地バンク

経営政策部長 当町は健全な財政状況であるが、今後は不透明。サービスの質を落とさず健全財政を持続させる。



(注) 農地集積率
農地を所有し、または借り入れることなどにより、利用する農地面積を拡大すること



ひぐち みずか
樋口 瑞佳

住民が意見を出しやすい町に

町長 意見を頂けるよう工夫したい

ホームページのトップ画面から住民の意見を受け付けてほしい。
企画担当部長 各課に直接問い合わせできる仕組みだが、トップページからも直接アクセスできるように検討する。
「目安箱」を明い別の名称に変更を。
経営政策部長 目安箱で住民に定着している。案内表示を工夫したい。
野焼き煙害の軽減策を
経営環境部長 苦情があれば現場へ行き、煙害軽減の配慮をお願いしている。自治会など



住民みなさまのご意見・ご提案を
(役場1階目安箱)

(注)ユニバーサルデザイン (Universal Design)

障がいのある年齢、性別、人種などにかかわらず、たくさんの人々が利用しやすいように製品やサービス、環境をデザインする考え方

でルールづくりをお願いしたい。

町スポーツ施設の予約などをシステム化に

生涯学習担当部長 今後、近隣市町の状態を参考に研究していく。

ユニバーサルデザインを様々な場面に

企画担当部長 町広報

は、カラーユニバーサルデザインに配慮して校正している。

経営政策部長 LGB Tへ配慮したトイレの在り方は、近隣市町などの対応を研究したい。

みんなに長く愛される公園に

町長

誰もが楽しく遊べる遊具を検討



いけだ
池田 いつ子

公園造りの新しい流れは、障がいのある子もいない子と同じ場所と一緒に遊べる「インクルーシブ公園」である。

障がいの有無や年齢差に関係なく、みんなに愛される公園に。

町長 インクルーシブな視点から、障がいの

ある子どもたちも一緒に楽しく遊べる遊具の設置を検討したい。

区画・公園担当課長

児童や保護者から広くアンケートを取り、ニーズに合った遊具の設置及び周辺環境の整備を検討している。また、障がいのある子もない

子どもと一緒に遊べる遊具の設置を検討したい。

遊具の色にも配慮が必要だ。自然に近い落ち着いたアースカラーにするべきではないか。

区画・公園担当課長

遊具の基本色は決まっております。変更は困難だ。何本の木を伐採するのか。植樹の計画は。

区画・公園担当課長

遊具設置のため、約70本の伐採が必要である。植樹は、具体的に遊具の配置状況を見て、今後の検討課題としたい。

すべての子どもが遊べるようにブランコの座席の種類を増やす



絵:N.Yamamoto

こんなブランコがあったらいいな



おお じ 恒
大 路 ひさし

国民健康保険税の均等割廃止を

町 長 4 年度に未就学児は 5 割軽減予定

国民健康保険税の均等割は、担税能力のない乳幼児にまで課税される。18歳未満の加入者の均等割の廃止を求める。

町長 子どもの国民健康保険税の均等割軽減は、全国知事会、全国市長会、全国町村会などが国に対し要望してきた。国は、子育て世帯の経済的負担軽減のため、4年度から全世帯の未就学児に係る均等割を、公費により5割軽減する予定である。

就学前の乳幼児、義務教育に就学している



3月末で廃止されたコスモス児童館

児童生徒、それ以外の18歳未満の均等割対象者数は。

健康福祉部長 就学前の乳幼児136人、義務教育に就学している児童生徒241人、それ以外の18歳未満は96人である。

コスモス児童館廃止後の利用方法、将来像は。

健康福祉部長 地元自治会は、現在、閉館後の施設利用の意向はな

いとのこと。

今後、地元自治会の意向を尊重し、利活用方法を検討したい。

一般質問

保育士確保の対策は

町 長 周辺市町と同様にする



は せ が わ
長 谷 川 和 重 かずしげ

保育士の確保のため、待遇の改善が必要では。

町長 3年度は、新たに2つの補助事業を設け、近隣と同様の制度の新設を考えている。

健康福祉部長 新卒保育士等就労支援一時金、保育士宿舍借り上げ支援事業補助金を新設し、

保育士の確保に努める。障がい者とその家族の高齢化に対応するための地域生活支援拠点の面的整備は。

健康福祉部長 障がい者基幹相談支援センターや地域自立支援協会と連携し、町内の障がい福祉サービス事業

所と協議している。引き続き、障がい福祉サービス事業所と調整を図る。近隣市町の取り組みも参考にする。

空き家をサテライトオフィスとして活用し企業誘致を。

都市計画課長 用途制限があるため難しい。要件を満たす物件があれば企業へ紹介する。

農産物のふるさと納税の返礼品対応は。

企画担当部長 農産物の返礼品は47品目ある。今後も返礼品の充実に努める。



ふるさと納税のカタログ

児童虐待防止の取り組みは

健康福祉部長 家庭支援や啓発運動を行っている



こやま ゆみ
小山 裕美

者支援を行い、緊急性が高い場合は県と連携し対応する。

殺処分ゼロをめざす地域猫との付き合い方

飼えなくなった猫についての相談や里親探しの体制はあるのか。また、TNR活動^(注1)を行う



地域で暮らす猫

(注1) TNR活動

飼い主のいない猫を捕まえて(Trap)、不妊去勢し(Neuter)、地域に戻す(Return)活動

(注2) アピアランスケア

外見の変化による心理的苦痛に対しての支援

う人への支援は。

経済環境部長 兵庫県

動物愛護センターで相談できる。TNR活動は、地域の理解がないと難しいため、現時点では考えていない。

乳がん患者にアピアランスケアの支援を^(注2)

少しでも明るい人生を歩んで頂くために医療用ウィッグなどを助成する自治体もある。当町の取り組みは。

健康福祉部長 他市町の動向を注視し、前向きに検討したい。

議会運営委員会の役割を学ぶ

議員研修会

議員研修会を、3月30日に稲美町役場で開催しました。

研修内容は「議会運営委員会の役割について」で、講師には元全

国都道府県議会議長会事務局次長の内田一夫^{うちだ かずお}氏をお招きしました。

議会運営委員会は、

議会を円滑に運営するための協議機関であり、議長を支えている機関でもあります。

地方自治法では、①

議会の運営②議会の会議規則、委員会に関する条例等③議長の諮問



内田一夫講師

の3つに関する調査を行い、議案、請願等を審査すると定められています。

講師からは、議会に求められていること、議会運営委員会法制化の背景や構成、役割や運営について詳しくご説明頂きました。

多数の議員が疑問に感じていることを質問し、改めて議会運営委員会に対する理解を深め、認識を共有することができました。



議会運営委員会の理解を深める

子育て支援拠点施設を

現地調査



5月5日にオープン「いなみっこ広場」



子育て支援拠点施設には、遊戯室、3室のプレイルーム、集会室、教養娛樂室などが配置

される。延べ床面積は、1075㎡である。工事契約額は3億7950万円で、工期は3年3月31日までとし、愛称は「いなみっこ広場」に決まった。

天満幼稚園の園庭造成工事を現地調査



天満幼稚園の現地調査

委員長	大路 恒
副委員長	小山 裕美
委員	樋口 瑞佳
〃	木村 圭二
〃	河田公利助
〃	関灘 真澄
〃	吉田 剛

総務福祉文教 委員会報告

第8期介護保険事業計画の策定

町準備基金2億9313万5000円を全額取り崩し、第8期介護保険料の基準月額を4800円と算出し、保険料の軽減を図る。

申請書などの押印廃止

住民などの利便性向上や行政手続きの簡素

園庭造成工事の工期は、3年3月31日までである。

化を図るため、申請書の氏名欄の押印を見直すことになった。押印廃止に向け実態調査をした結果、住民などに押印を求める町独自の手続きで廃止できるものが694件、存続も含め廃止を検討するものが109件あった。

廃止される694件には、どのような書類があるのか。

町民税や国民健康保険税の減免申請書、保育所や幼稚園の入園関係書類などである。

その他調査事項

地域福祉計画の策定、総合計画等策定事業など。

(2月2日・8日開催)

	ごみ区分	令和3年 11月	12月	令和4年 1月	2月	3月
可燃ごみ	家庭系ごみ					
	事業系ごみ					
不燃ごみ	家庭系ごみ					
	事業系ごみ					
粗大ごみ	家庭系ごみ					
	事業系ごみ					

試運転に伴うごみ搬入スケジュール

生活産業建設

委員会報告

委員長 長谷川和重
副委員長 辻元 誠志
委員 大山 和明
〃 山田 立美
〃 山口 守
〃 池田 博美
〃 池田いつ子

広域ごみ処理施設稼動後の ごみ収集体制を調査

広域ごみ処理施設（東播臨海広域クリーンセンター）が、4年4月から本格的に稼働する。ごみの収集は、車両を5台から7台へ増車し対応する。ごみ搬入の基準を順守し、住民サービスの向上に努める。

問 可燃ごみが、対前年度比で460ト減少した。減少理由は、

答 事業系指定ごみ袋の導入や展開検査を行った結果だと考える。

問 ごみ収集運搬体制を見直すにあたり、地区割りも見直すのか。

答 収集日や地区割りの変更は住民に混乱を招くので、行わない。

問 プラスチック容器類の分別は、

答 プラスチック容器類は助燃剤として活用するため、3年11月から分別をやめ、可燃ごみとして収集する。

総合防災マップの改定

国の避難勧告に関するガイドラインの改定に伴い、町の総合防災マップに新たな避難情報などを反映させ改定する。

問 洪水被害が想定される場所が、指定緊急避難場所となっている。災害種別によって避難場所を変えるなど、運用のなかで対応する。

答 エリアの色分けを見やすくできないか。

問 凡例を工夫する。「着色があれば危険である」と出前講座などで説明している。

稲美中央公園遊具等更新事業

公園施設長寿命化計画に基づき、稲美中央公園内のローラー滑り台などの遊具を撤去し、新しく大型複合遊具を設置する。遊具選定に住民の意見を反映させるためアンケートを実施し、小学生1665人、3歳から5歳までの幼稚園・保育園児647人とその保護者（希望者のみ）546人から回答を得た。

その他調査事項

2年度主要事業の進み具合など。（2月5日開催）



撤去されるローラー滑り台（稲美中央公園）



「稲美中学校 生徒会」のみなさん

● 議会インタビュール (123)

稲美中学校「生徒会」を訪ねて

どのような活動をしていますか

生徒会としてのスロガン「RAINBOW」たくさんの個性を一つの輝きに」を基に、行事やイベントの企画・運営を行っています。

ICTを活用し、小学6年生に向けたビデオを製作しました。また、3年生を送る会では、離れた場所にいる

人ともコミュニケーションが取れるZOOMを用いて、体育館にいる3年生と1・2年生の各クラスをつないで感謝の気持ちを伝える予定です。

です。みんなの要望により多く聞けるように工夫を凝らし、生徒全員の幸福度が上がるようにしたいと考えています。

稲美中学校生徒会として望むことはどんなことですか

生徒からの意見を募るため学校の各階に意見箱を設置していますが、意見が少ない状況



町に望むことはどんなことですか

道路に歩道や自転車道をつくって通学路を安全にしてほしいです。機会があれば、議員や行政の人たちと話し合う場をつくっていたけると嬉しいです。

議会だよりは読んでいますか

自分たちに関わることや興味がある内容は

読んでいます。色使いが渋いので、明るい色だったらいのにと感じました。

稲美中学校 生徒会	
生徒会長	なほこさん
ふじた 藤田	直子
・男性	6人
・女性	8人
合計	14人
顧問	みずの しゅうと 水野 崇人先生

言ひとち



つじもと ひさかず 辻元 久一さん

(出新田)

近年、大気中の温室効果ガス濃度が増している。子ども時代には、何日間もため池は全面凍っていた。稲

「地球温暖化」

美町は、農業が盛んなまちである。東京生活35年を経て帰省し、農業経営を行っている。昨今の野菜作りは、温暖化の影響と思われる野菜成長の早さ、病害虫による野菜の品質不良品の多いこと。「野菜の安全、安心、安価」な消費者ニーズの高まり。無農薬野菜は夢物語である。

後記

昨年来のコロナ禍、誰にとっても先行きは不透明です。2年ぶりの選抜甲子園から東播磨高校が元気の風を送ってくれました。球音高く、人生と重ね合わせて、最後まで何が起るかわかりません。諦めずに、頑張らなくてはと思います。

(池田 いつ子)

広報常任委員会

委員長	樋口 瑞佳
副委員長	吉田 剛
委員	小山 裕美
委員	木村 圭二
委員	池田 博美
委員	池田 いつ子

